

てつなぎ

3月になり、すっかり春めいてきました。保育園は年度末を迎えています。1年間、大きなけがや病気もなく過ごすことができましたか？規則正しい生活は送れましたか？良い機会ですので4月を迎える前に親子で振り返ってみましょう。

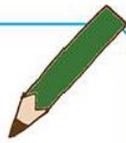
母子健康手帳、定期的に見直してみませんか？

母子手帳は、お母さんの妊娠から出産、そしてお子さんの出生から小学校入学（6歳）までの健康を記録するものです。引っ越ししたり、転院したりしても、お母さんとお子さんの健康を切れ目なくサポートするための大切な記録です。

チェック!

身体発達曲線に育ちを記録していますか？

身体発達曲線（成長曲線）には、子どもの身長と体重の育ちの目安がのっています。ここに、お子さんの身長と体重の測定値を記入し、線で結んでみましょう。成長曲線の目安と、お子さんの測定値のグラフが平行に伸びていれば、順調に成長していることがわかります。

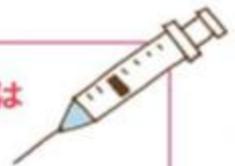


チェック!

予防接種、受けそびれはないですか？

3歳以降は予防接種の数が減るため、つい忘れがちですが、日本脳炎やMR、流行性耳下腺炎（おたふく風邪）などの追加接種があります。せっかく最初の接種を受けても、追加接種を受けないと免疫が十分につきません。追加接種を受けそびれないよう気をつけて。

また、二種混合や子宮頸がんワクチン（HPVワクチン）など、小学校以降に受ける予防接種も記録できる母子健康手帳もあります。就学後もときどきチェックしましょう。



チェック!

保管場所を決めていますか？

母子健康手帳は、小学生になると使う機会が少なくなりますが、お子さんにとっては大切な「健康の履歴書」。将来、留学や仕事などで予防接種の接種歴を見るなど、必要な場面があります。家族で置き場所を決め、大切に保管しておきましょう。



中学生や高校生になったとき、成長を振り返る記録に！



はしか（麻疹ウイルス感染症）にご注意ください！！

2024年2月、アラブ首長国連邦から帰国した男女5人が、麻疹ウイルスに感染していることが報告されました。はしかは、麻疹ウイルスに感染することによって発症し、重症化する恐れがある感染症です。その感染力は高く、新型コロナウイルスをはるかにしのぎます。麻疹ウイルス含有ワクチン（以下、ワクチン）接種が唯一の感染予防手段となります。新型コロナウイルス感染症の流行により、国内外で小児のワクチン接種率が低下し、近年はしかに対して免疫を持たない方が増えてきておりますので注意が必要です。

はしかにかかったことがなく、ワクチン接種がお済みでない方は速やかに接種していただくことをお勧めします。

はしかの患者さん1人で、12~18人の免疫のない方々に空気感染させます

- 「接触感染」「飛沫感染」だけでなく、「空気感染」で広がっていきます
- 「接触感染」はウイルスが付着した手を介して広がり、「飛沫感染」は咳やくしゃみで飛散したウイルスを含む飛沫で感染が広がります
- 「空気感染」では、集団の場で1人の発症があった場合、同じ空間にいる免疫のない方は、発症する可能性が非常に高いです
- ウイルスは、浮遊中や物質の表面で最大2時間の活性があり、感染力を持ちます
- 発症した患者さんでは、発疹の出る4日前から発疹出現の4日後まで感染力があるとされています

特効薬はなく、ワクチンが最も有効な予防法



はしかにかからないため、また流行を抑えるためには、**2回のワクチン接種が最も重要**です。

お子さん 現在、日本では1歳になったらすぐに1回目のワクチン接種を行い、2回目を小学校入学前の1年間（年長児）に接種する定期接種を行っており、接種することを強く推奨します

大人の方 今までにはしかにかかったことのない大人の方は、小さいころの予防接種記録をご確認いただくか、近くの医療機関での抗体価検査をご検討ください。

はしかのワクチンは生ワクチンですので妊婦さんには接種できません。パートナーやご家族で、ワクチン接種歴のない方や抗体価が不十分な方はワクチン接種を行い、妊婦さんや赤ちゃんを家庭内感染から守りましょう。

（はしか（麻疹ウイルス感染症）にご注意ください！！ | 国立成育医療研究センター（ncchd.go.jp）

今月は感染症の流行もなく、どのクラスのお子さんも元気に登園していました。

また、3月9日にはぶどう組さん全員が、無事に卒園式を迎えています。

今年度も保健活動にご理解とご協力をいただきありがとうございました。また来年度も引き続きよろしくお願ひします。